



令和7年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和7年2月10日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 稷志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 秋葉 真奈美 TEL 042-558-5111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第3四半期の業績（令和6年4月1日～令和6年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	1,148	25.9	361	177.9	369	168.3	256	159.4
6年3月期第3四半期	912	△5.1	130	△11.4	137	△9.8	98	△8.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	64.07	—
6年3月期第3四半期	24.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期第3四半期	4,473	3,268	73.1
6年3月期	4,386	3,049	69.5

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 3,268百万円 6年3月期 3,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	—	—	10.00	10.00
7年3月期	—	—	—	—	—
7年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和7年3月期の業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,875	2.3	200	2.7	205	1.6	145	4.6	36.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年3月期3Q	4,032,000株	6年3月期	4,032,000株
② 期末自己株式数	7年3月期3Q	29,535株	6年3月期	26,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7年3月期3Q	4,002,465株	6年3月期3Q	4,002,471株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善などにより緩やかな回復が続いているものの、人件費や資源価格の高騰による物価上昇圧力は依然として強く、先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、世界的な地政学リスクを背景に国内では防衛予算が増額され、防衛関連企業は需要増及び採算性改善が期待されておりますが、当社が扱う火工品への影響は僅かであり、今後の見通しも不確実な要素が多く楽観視できない状況です。一方で高エネルギー物質の燃焼処分等、専門性の高い分野への委託業務は堅調に推移いたしました。また、それらのサービスや技術提供においても生産活動と同様、効率化を猛進させたことで利益率は大きく向上いたしました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は1,148百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益361百万円（同177.9%増）、経常利益369百万円（同168.3%増）、四半期純利益256百万円（同159.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 火工品事業

当社製品の多くを占める救命・救難用の防衛装備品については、防衛予算の増額に伴う大幅な受注増加は今後も見込めない状況です。しかし、使用済み火工品の燃焼処分や高エネルギー物質の評価試験など、当社の技術と設備を活用した分野には官民間問わず需要が高まっており、大型受注が集中した当期は増収増益となりました。

以上により、売上高は1,017百万円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益は299百万円（同337.3%増）となりました。

② 賃貸事業

売上高は130百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は90百万円（同1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は4,473百万円（前事業年度末比86百万円増）、負債合計1,204百万円（同133百万円減）、純資産合計3,268百万円（同219百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年3月期の業績予想につきましては、前回発表（令和6年5月13日「令和6年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,521	643,125
受取手形及び売掛金	540,833	322,693
電子記録債権	21,228	18,930
商品及び製品	31,379	39,368
仕掛品	216,041	654,568
原材料及び貯蔵品	308,961	362,558
その他	12,953	42,117
流動資産合計	2,100,919	2,083,362
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	299,810	351,326
土地	1,321,680	1,321,680
その他(純額)	171,519	176,659
有形固定資産合計	1,793,010	1,849,666
無形固定資産	11,844	3,682
投資その他の資産		
投資有価証券	476,830	532,622
その他	4,045	3,720
投資その他の資産合計	480,875	536,342
固定資産合計	2,285,730	2,389,691
資産合計	4,386,649	4,473,054
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,064	109,151
短期借入金	511,004	511,004
未払法人税等	74,778	50,128
賞与引当金	48,770	24,632
その他	248,483	95,281
流動負債合計	962,100	790,198
固定負債		
長期借入金	125,549	117,296
リース債務	2,765	6,803
退職給付引当金	67,693	68,248
役員退職慰労引当金	75,088	80,986
製品保証引当金	698	795
資産除去債務	9,405	9,405
その他	93,883	130,336
固定負債合計	375,083	413,870
負債合計	1,337,183	1,204,069

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和6年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,554,011	2,770,440
自己株式	△14,800	△14,800
株主資本合計	2,758,932	2,975,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	290,533	293,623
評価・換算差額等合計	290,533	293,623
純資産合計	3,049,465	3,268,985
負債純資産合計	4,386,649	4,473,054

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	912,222	1,148,145
売上原価	559,568	560,535
売上総利益	352,653	587,609
販売費及び一般管理費	222,573	226,126
営業利益	130,080	361,483
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	8,210	8,636
雑収入	1,830	2,623
営業外収益合計	10,040	11,262
営業外費用		
支払利息	2,302	3,197
雑損失	86	0
営業外費用合計	2,388	3,197
経常利益	137,732	369,548
特別利益		
固定資産売却益	218	54
保険差益	—	155
特別利益合計	218	210
特別損失		
固定資産除却損	116	0
特別損失合計	116	0
税引前四半期純利益	137,833	369,758
法人税、住民税及び事業税	24,015	77,390
法人税等調整額	14,944	35,913
法人税等合計	38,959	113,304
四半期純利益	98,874	256,453

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	48,486千円	49,990千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	784,944	127,277	912,222	912,222
セグメント利益	68,608	91,447	160,056	160,056

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	160,056
全社費用（注）	△29,976
四半期損益計算書の営業利益	130,080

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	
売上高	1,017,231	130,913	1,148,145	1,148,145
セグメント利益	299,994	90,074	390,069	390,069

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	390,069
全社費用（注）	△28,585
四半期損益計算書の営業利益	361,483

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。